

NAGAKUTE ながくて 議会だより

No.81
2012年(平成24年)
11月1日



長湫の警固祭り
景行天皇社にて棒の手奉納
10月14日(日)

主な
内容

9月定例議会

- 146億円はどう使われたか
(決算特別委員会) 2~3p
- 平成24年度一般会計補正予算(総務) 4p
- (仮称)長久手第三中学校楽器の買入れ
(文教福祉) 5p
- 平成23年度公共下水道事業特別会計決算
(建設環境) 6p
- 議案等審議状況(○×表) 7p
- 一般質問(代表・個人) 8~20p
- あの質問はどうなった 21p
- 議会傍聴記・12月定例議会予定 22p

146億円はどう使われたか

平成23年度一般会計決算認定の審査を行った

市税は89億5,243万円、前年度比2.5%増えた

決算
概要

歳入決算額は、153億2,961万円で前年度比1.1%増となった。市税は89億5,243万円で2.5%増、市税の内、個人市民税は36億5,844万円で1.1%減収した。

歳出決算額は、146億7,822万円で2.6%増となった。第三中学校建設事業、給食センター建設事業、長湫南部1号及び6号公園の整備工事などを行った。

■ 収納課

Q前納報奨金を平成23年度で廃止としたのはなぜか。
A前納報奨金は、市民税、固定資産税が対象となり、普通徴収はこの制度が利用できるが、特別徴収では利用できない。税の公平性の観点から廃止とした。

■ 安心安全課

QN-バスの運行は約1億円かかっている。費用対効果はどのようか。
A平成23年度の利用者は、19万5,032人で16.5%増。要因は、南部線の双方向運行、バス1台の増車など。有料乗車数は20%を超えた。今後も市民へのPRに努める。

■ 環境課

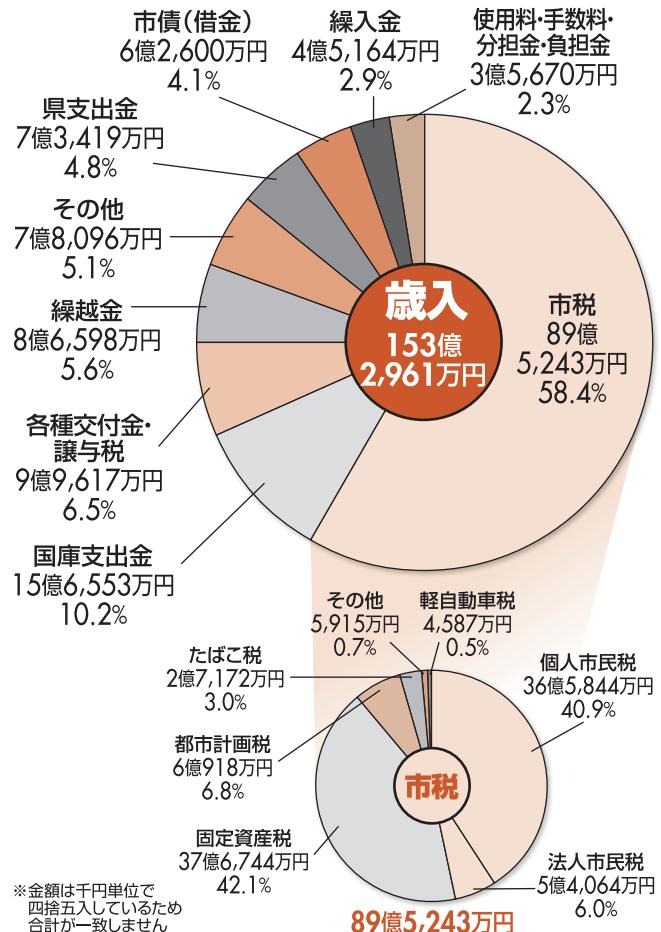
Q動物処理委託の処理件数は犬・猫160件、その他49件の計209件だが、1件当たりの経費はどれくらいかかっているか。また処理件数を減らすための対策はしているか。
A1件当たり5,775円である。犬・猫の避妊去勢手術費用を補助し、平成23年度は878,000円支出した。路上の死骸を処理する動物処理委託は、ほとんどが猫、いわゆる野良猫で、抜本的な策はない。

■ 福祉課

Q生活保護扶助費3,736万709円について、不正受給防止対策はどのようか。
A虚偽申請がないよう申請・相談時に自宅訪問し、課税状況や住民票などを調査し、生活保護開始後も家庭調査を行い、不正受給のないように努めている。

■ 長寿課

Qシルバー人材センターの業務拡大努力は、どのようか。
A職員が事業所開拓をし、営業努力をしている。民業を圧迫してはいけないという制約があるので苦戦している。



■保健医療課

Q乳幼児健診の受診率は、100%ではない。未受診者へのアプローチはしているか。

A未受診者には、障がいがあり医療機関にかかっているケースなどがある。また、児童虐待の発見につながることもあるので子ども相談室と連携し、受診状況を把握できるよう対応している。



オール電化の新給食センター調理室

■企画政策課

Qリニモの経営は、第1次経営安定化策による支援に支えられている。会社の体質改善はしたか。

A支援がないと存続できない状況。職員の削減など経費削減に努め、乗客増に向けて取り組んでいる。

■市民協働課

Q長久手歴史トラベラーズはいつまで続けるのか。雇用の継続性、保障はどうなっているか。

A平成24年度は、緊急雇用ではなく12月まで継続する。緊急雇用としての契約は平成23年度末までで、当初から1年の契約として募集した。

■田園バレー事業課

Q遊休農地活用事業の前熊堀越地区の耕作放棄地対策についての活動状況はどうか。

A長久手給食食材生産会の設立の要綱作成などを支援。生産会を立ち上げ、より安定的に多くの地場農産物を給食食材として供給できるよう、組織的にあぐりん村や給食センターとやり取りしている。

■都市計画課

Q耐震診断数の累計はどのようか。また、耐震改修の累計はどのようか。

A耐震診断の累計は、平成24年8月で761件となった。これまでに52件耐震改修補助をした。

■給食センター

Qオール電化の新給食センターとなり、光熱水費が前年度より約1,000万円高くなっている。安くならないのか。

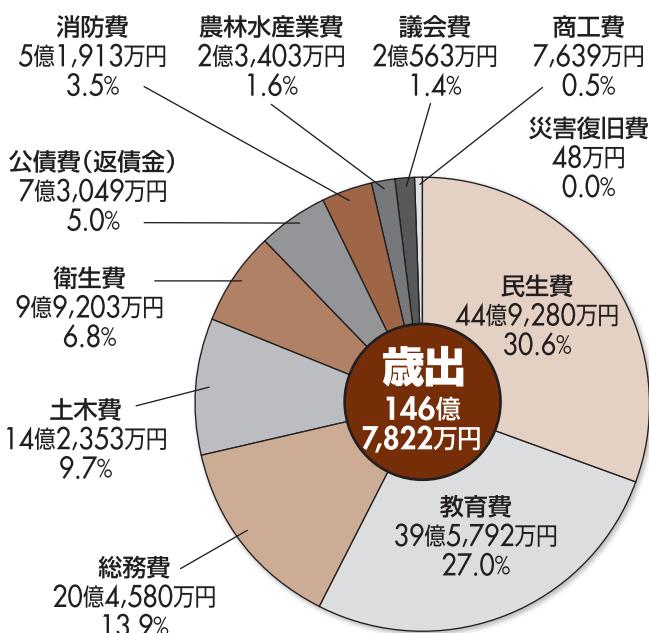
A平成24年度は約6,000万円の予算。電気料は当初月400万円を見込んでいたが現在は月300万円前後で推移している。稼動して9ヵ月なのでどこまで圧縮できるか分からない。

■中央図書館

Q学校への図書貸出状況が、平成22年度1,490冊から平成23年度8,498冊と増えているがなぜか。

A学校連携司書2人が、各学校へ巡回するようになり、先生からこのようなものを届けてほしいという依頼が増加し、団体貸出の冊数が増えた。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり認定



平成24年度 一般会計補正予算

Q 学校のトイレ改修は、どの程度を計画しているか。

A 長久手小学校、西小学校、東小学校、長久手中学校の4校を予定している。便器の洋式化、床の乾式化、トイレ個室の取り換え、配管・洗面台の交換、多目的トイレの設置などを計画している。

Q 工事はいつ実施するのか。

A 原則、夏休みに行う。中学校は夏休みも部活があり、トイレが使用できないと支障があるので、2カ年となるかもしれない。

Q すべてのトイレを洋式化にするのか。

A 家庭と学校のトイレ環境の差を小さくしたい。児童生徒、保護者、教職員などの意見も聞きながら進めたい。

Q 改修工事の財源はどうか。

A 文部科学省の交付金を要望したい。

Q 障がい者の相談支援体制充実・強化事業は、障害者相談支援事業所「おかげさん」への委託となるのか。

A 今年度「おかげさん」に委託した総合相談事業



改修工事予定小学校のトイレ

の延長として実施するもので、最も効果的に実施できると判断している。

Q 地域福祉計画策定のためのアンケートの日程はどうか。

A 全世帯を対象に1月～2月に実施、3月に集計・分析を予定している。国のセーフティネット対策事業の全額補助で行うので、年度内に完了しなければならない。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

平成23年度 土地取得特別会計決算

Q 高針御嶽線の用地で、未買収の用地は残っているのか。

A 用地買収は完了し、工事発注をした。来年度、買い戻しを含め事業が完結する。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり認定

財産の交換、譲渡、 無償貸付等に関する 条例の一部改正

Q 国などに対する寄付の制限がなくなったが、国への財産譲渡は起こりうるのか。

A 想定は難しいが、法改正に伴うものなので条文整理をした。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

文教福祉 委員会

委員長 じんの 和子 副委員長 佐野 尚人 さとう ゆみ 青山 直道 吉田 ひでき 正木 祥豊 加藤 和男

平成23年度 国民健康保険特別会計決算

Q特定健康診査の受診率が、平成22年度は48.9%、平成23年度は44.8%と下がっている理由は何か。

A受診率低下の原因は、電算システムの業者が変わり、切り替えが遅れたことなどから未受診者に通知ができなかったことが理由と考えられる。今後も、窓口、広報などで周知していく。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり認定

平成23年度 介護保険特別会計決算

Q包括的支援事業の事業費2,470万円の内訳はどのようか。

A愛知たいようの杜は1,520万円、社会福祉協議会は950万円。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり認定

長久手市社会福祉法人の 助成に関する条例の制定

Q対象となる法人はどこか。

A社会福祉協議会、愛知たいようの杜、名古屋文化キンダーホルト、たかぎ作業所の4カ所である。

Q今後助成が増える可能性はあるか。

A社会福祉協議会にのみ補助金を出していた。他の3件については、これまでに助成要望の意向はあったが市からの補助はなかった。市内に本拠地を置く新しい法人が設立されれば助成対象となる。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

(仮称)長久手第三中学校 家具の買入れ

買入れ金額 7,054万9,500円

買入れ先 (有)日進書房

Q指名競争入札であるが、メーカーが決まっているならば、なぜメーカーと直接しないのか。

A指名審査会の入札の規定に従い、登録業者の中の文房具・事務機器業者12者で指名競争入札をした。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

(仮称)長久手第三中学校 楽器の買入れ

買入れ金額 3,055万4,790円

買入れ先 宮地楽器(株)

Q楽器のランクは上、中、下のどのあたりで、メーカー選定はどのようにしたか。

A長久手中学校、南中学校と同レベルである。メーカー選定も長久手中学校、南中学校の音楽の先生に協力してもらった。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決



新しい中学校にふさわしい楽器がそろう

建設環境 委員会

委員長 田崎 あきひさ 副委員長 岡崎 つよし 水野 とみ子 浅井 たつお 水野 竹芳 川合 保生

平成23年度 公共下水道事業 特別会計決算

歳入総額	23億4,662万7,959円
歳出総額	23億308万1,725円
実質収支額	4,354万6,234円

Q 下水道料金収入は4億8,000万円程度ある。将来的に下水道が市内全域に布設し接続した場合に、下水道使用料の収入だけで下水道事業がまかなえるか。

A 維持管理費だけで見れば黒字だが、徴収した使用料は一般管理費や起債償還に回している。平成23年度は起債償還に約1億円を回した。長久手浄化センターは老朽化し、大きな機械などの修繕が出てくる。平成25年度からは南部浄化センターも稼働するので、維持管理費がかなり増える。将来的に黒字でやっていけるかどうかのシミュレーションはしていない。

Q 公営企業会計を採用している自治体もあり、収

支の意識は大事である。市は赤字になれば一般会計から繰り入れたらよいと考えているのか。きちんとしたシミュレーションを住民に示すべきだがどうか。

A 将来を見据えて維持管理費などの推移を計算する必要があるが、事務的にはそこまで推計することは難しい。今後は、工事が必要となることや、起債償還もあるので、すべてを使用料でまかなうのは難しい。一般会計や基金からの繰入も行いながら計画していく。

Q 市が下水道使用料を徴収できず時効とした分が約160万円、滞納分が約2,041万円もある。この状況をどう改善していくのか。

A 時効とした分のほとんどが市外へ転出して連絡が取れなくなり徴収ができなかった分で、督促状や催告状の送付、電話催告をしているが成果が出でていない。さらに徴収に努める。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり認定

暴力団排除条例の制定

Q 条例の趣旨はどのようか。

A 市が暴力団を強力に排除することを全面に押し出しアピールすることによって入札や祭りなどに参加できないことを周知させる。事後に暴力団が入っていたと分かったものについても警察の助言を受けながら排除を進める。

採決の結果、
賛成全員にて
原案のとおり可決



現在建設中の南部浄化センター

視察報告 総務委員会

地域会館(大阪府堺市)

堺市の地域会館は1980年から整備が始まり、2012年度現在96校区中85校区にあり、原則として小学校のすぐ側に建設し、校区自治会連合会が管理・運営をしている。

建物工事費の90%、3,500万円を限度として補助し、土地は市が購入する。(200mまで、上限6,000万円)

今回訪問した新金岡小校区は、昭和40年前後に金岡ニュータウンとして開発された。自治会館として40年前に保育園を併設して建設。今日まで、住民の親睦と交流、福祉活動、高齢者対策、防犯、防災、まちづくりなど積極的に取り組んできた。現在人口約1万人、約4000世帯の内、80%以上が自治会に加入。

地域会館に関わっている人は、自治会連合会役員が26人、専門部に60人、福祉委員会に41人。会

館運営委員会として20名前後で毎月1回会議をしている。

活動は、毎週土曜のふ

れあい喫茶、年3、4回のふれあい食事会、月1回の子育て支援「はとポッポ」、お元気ですか!訪問隊など。また貸室として学習塾、体操教室、琴教室、空手教室を含む16サークルが利用している。

長久手市においても、地域共生ステーションの取り組みを目指しているが、視察を通じ地域で成熟するにはかなりの時間が必要ではないかと感じた。



平成24年 第3回定例会 議案等審議状況

提出者	議案名	審議結果	さとう	すえ	青山	岡崎	田嶋	吉田	川本	正木	佐野	加藤	木村	水野	原田	じんの	浅井	加藤	水野	丹羽	川合
			ゆみ	規代	直道	つよし	あきひさ	ひでき	勝幸	祥豊	尚人	和男	さゆり	とみ子	秀俊	たつお	和子	たつお	武	竹芳	茂雄
	平成23年度一般会計決算認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○
	平成23年度国民健康保険特別会計決算認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	平成23年度土地取得特別会計決算認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度公共下水道事業特別会計決算認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	平成23年度農村集落家庭排水施設特別会計決算認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	平成23年度介護保険特別会計決算認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	平成23年度後期高齢者医療特別会計決算認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	平成24年度一般会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成24年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	財産の交換、譲渡、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	税条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	都市計画税条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	暴力団排除条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	防災会議条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	災害対策本部条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会福祉法人の助成に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(仮称)長久手第三中学校家具の買入れ	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(仮称)長久手第三中学校楽器の買入れ	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育委員会の委員の任命	憲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
意見書	定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

議長 伊藤祐司は採決に加わらない。 ○は賛成 ×は反対

代表質問

政策
グループ
「楓、



丹羽 茂雄 議員

Q 新庁舎建設の予定は

A 今後調査・検討を進めていく

Q 本庁舎が手狭で住民サービスができないのではないか。

A 総務部長 手狭ということは事実である。



市内の児童遊園

Q 小・中学校のトイレ改修は来年度実施するのか

A 来年度に実施する

Q 今回、補正予算に長久手小学校、西小学校、東小学校、長久手中学校のトイレ改修工事設計業務委託費が計上されたが、来年度トイレ改修をするのか。

A 教育文化部長 来年度夏休みを利用して、順次改修を実施していく。

Q 新庁舎を早期計画しないか。
A 2020年に人口63,000人と推計されているので、今後調査・検討を進めていく。

Q 北熊児童遊園はいつできるか

A 今年度中に整備する

Q 北熊児童遊園はなくなつてから何年になるか。

A 建設部長 7年になる。

Q 市内に15カ所ある中で、6カ所の借地は、市が買い上げはどうか。

A 地主の意向もあるので、今後調査研究していく。



市内の児童遊園

Q ジェイアラート J-ALERTを市内全域でテスト(サイレン・音声放送)しなくていいのか

A 9月12日に音声放送で実施する

Q 8月13日、夜中の火災のサイレンで60数件の問い合わせがあったと聞くが、市内全域でテスト放送しなくていいのか。

A 市民生活部長 全部で66件の問い合わせがあった。明日、9月12日に全国一斉に音声によるテスト放送をする。

「創」



岡崎 つよし 議員

Q 防災備蓄庫について

A 小学校区に1つを目標に準備する

Q 市ヶ洞地区はグリーンロードや東名高速道路が損壊した時に援助の手が入りづらくなる。南部1号公園は防災機能を備えた近隣公園なので早急に考えてはどうか。

A 市民生活部長 公園内に整備するのか、他の場所も考えて対応したい。

Q 自主防災倉庫の中身は平成17年度以降、年3回講習会を終了した自治会に貸与されているが、機材は毎年同じものである。年々新しい機能で良い機材も増えているので見直しをしないか。



防災機能が整備された南部1号公園

- A**今後見直しをしていきたい。
Q防災倉庫の鍵を地区の代表にも管理してもらう考えはないか。
A市民生活部長 避難所の鍵の管理も含め検討していく。

Q 災害時応援協定は

A 考えている

- Q**災害時に同時被災しない地域との協定が必要である。介助犬を通じて友好関係にある宝塚市と結ばないか。
A市民生活部長 有効であると考える。

Q 妊婦の歯科検診見直しを

A 検討する

- Q**保健センターでの受診方法ではなく、市が委託している歯科診療所で検診しないか。
A福祉部長 歯科医会と調整していくたい。

Q フッ化物洗口をはじめないか

A 小学校でモデル的に実施していくたい

- Q**平成15年に厚生労働省のガイドラインが出ている。その中で4歳から開始した方が良いと記載されているが、保育園でも始めないか。
A教育文化部長 実施は考えていない。



Q 日本一の福祉のまちづくりは

A 絆で結ばれた地域にする

- Q**3つのフラッグで日本一の福祉のまちは作れるのか。
A市長 幸福度の高い、生きとし生けるものがつながって暮らす人間味豊なまちにする。
Q誰が日本一と判断するのか。
A企画部長 幸福度は市民アンケートで聞く。市民と協働で作り上げていく。
Q3年間で日本一の福祉のまちが作れるのか。

A副市長 新しいまちづくり行程表は、1つの案である。毎年見直しをかけ方針を整備していく。

Q市長・執行部が職員に朝あいさつすることで何が生れるのか。

Aあいさつで職員の気持ちの中に市民目線が芽生えてくる。

Q 長久手市の雇用対策は

A 大型商業施設の誘致で雇用が発生する

- Q**雇用対策で市の方針はどうか。
A副市長 大型商業施設の誘致をしている。1店舗で300人から400人の雇用が発生する。
Q部署によって職員の残業時間がが多いが、減らす対策はどのようにか。
A総務部次長 事務の合理化の検討や、職員の増員、臨時職員で対応する。今後は窓口に専門職員を配置し解消していく。

観光協会設立は

- Q**3年前から同じ答弁である。いつ頃を目標に作っていくのか。
A企画部長 運営維持が大変である。設立に向けて努力する。
Q観光の1つである警固祭りは市の担当課で警察への申請手続きをできないか。
A協力支援はしていくが、基本的には保存会で申請してもらう。



公明党



水野 とみ子 議員

**Q 幸福度について
市長の見解は**

**A 目指すは
心の豊かさ**

Q新しいまちづくり行程表に「幸福度＝日本一の福祉のまち」を目指すとある。市長の見解はどなうか。

A 市長 3つのフラッグに基づき多世代共生手づくり社会を進めることで、一人ひとりの幸福度を向上する「グロス・長久手・ハッピネス」を長久手方式のまちづくりとしていく。これから目指さなければならないのは、一人ひとりの心の豊かさだ。

Q女性の視点をまちづくりに活用するとはどなうか。

A 企画部長 女性の視点から見たさまざまな課題を提案していくことが安心で安全なまちづ

くりにつながると考える。男女共同参画を念頭に置き、委員会や地域でのまちづくり会議など、市民が平等に取り組めるよう周知、啓発に努める。

**Q 学校施設の非構造部材の耐震強化は
A 調査を行い、対策を
進めていく**

Q学校施設の非構造部材の耐震強化はどなうか。

A 総務部長 非常災害時に地域の避難場所となる体育館は、天井材が使用されている。今年度、専門機関に依頼して天井材や照明器具など非構造部材の点検調査を行い、その結果をもとに対策を進めていく。

Q竣工から30年が経過した公共施設数と毎年の修繕費および大規模改修費の見込み並びに財源確保はどなうか。

A 市内に34施設あり、毎年の修繕費の平均額はおよそ3,300万円で、大規模改修は小中学校や保育園などである。財源の確保は、基金の取り崩しや地方債の借り入れ、特定財源の確保などで対応していく。



宮城県栗原市

地震により学校体育館の天井材落下(文部科学省より)

行政
改革
クラブ



佐野 尚人 議員

**Q 市が洞小増築で
地域の意見を
どのように集約
したか**

A 2回説明会を実施

Q市が洞小の児童数増加の対応として、当初教育委員会は、これ以上市が洞小に負担をかけら



地域の意見を集約し

**Q リニモ第二次経営
安定化策は**

A 初期投資が課題

Q第二次経営安定化策のなかで民間からの借り入れをどのように清算できるかが課題となっている。県にはどのように要望していくのか。

A 企画部長 市の負担を軽減できるよう要望していく。

れないと学区の再編成を進めていた。現在進めている校舎増築計画は1,300人を超える児童数を推定しており、市が洞小に大きな負担を強いるものとなっている。計画を進めるにあたっては地域の意見を集約しながら進めていくよう文教福祉委員会でも昨年度から要望してきた。どのように地域の意見を聞いたのか。

A教育文化部長 説明会を2回行った。

Qこのままマンモス校となれば、児童のけがや精神的ストレスから起こるいじめやけんかなどいろいろな問題が懸念される。メリット・デメリットをきちんと説明をしながら計画を進めるべきではないのか。

Aいろいろな想定をしながら、学校運営をしていく。

この3階建て校舎が増築する校舎です



ながらすすめるべき

Q障がい児福祉拠点の建設を

A条件を整えたい

Q尾張旭市との衛生組合がその役割を終えようとしている。解散をした場合、その跡地に障がい児福祉拠点を尾張旭市と広域でつくるいか。

A副市長 必要性は認識しているので、まずは副市長レベルで尾張旭市と相談したい。



木村 さゆり 議員

Q いじめで苦しむ子どもをなくすためには

A 早期発見、早期解決に力を入れる

Q文部科学省の調査によると小中学校などの2010年度のいじめの認知件数は7万7,630件で前年度に比べ6.7%増加している。いじめは、どこの学校にも起こり得る。しかも根が深く簡単に解決できない。だからこそ個々の事例を徹底して検証し予兆を見逃さない態勢の整備が必要である。今回の大津市の事件をどのように認識し、どのように考えているのか。

A教育長 尊い命が失われた事実を重く受け止め、本市でこの

ようなことがないようにいじめの防止、早期発見、早期解決を各学校に指示するとともに、自他共に命を大切にする心を育てる教育が重要であると考える。

Qいじめ対策はどのようか。

Aいじめは絶対許されないものということをあらゆる機会に指導した上で、日常観察、生活アンケート、教育相談を行い早期発見に努めている。

Q教師、学校、行政と教育委員会との関係についての認識は。

Aそれぞれの立場で児童生徒のいじめの防止や解決に向けて協力し合う関係であると認識している。

Q 介護マークを作成しないか

A 来年度に向けて検討していく

Q静岡県で全国初の介護マークが作成された。介護マークについての考えはどのようか。

A福祉部長 介護する人が「介護中」であることを周囲に理解してもらうためのもので、本市においても来年度に向けてその作成を検討していきたい。



静岡県が全国で初めて作成した介護マーク



じんの 和子 議員

Q 大幅減となった中央図書館の駐車場確保はできるのか

A 新たな駐車場用地について調査していく

Q 図書館以外での本の返却口設置の考えはあるか。

A 教育文化部長 設置を考えていくたい。

Q 「雑誌スポンサー制度」を始めないか。

A 他市の成功例もあり、導入を検討している。

Q 障がいのある方には自宅に本



7月から中央図書館南駐車場の駐車可能台数が28台から8台に減少

を届けるとか対面朗読、本の音声訳などのサービスを考えないか。

A 愛知県図書館は録音資料などの所蔵タイトル数が充実しているので、資料を取り寄せるなど相互貸借も可能である。障がい者サービスの周知を行い相談支援を図りたい。対面朗読は要望があれば検討する。

Q 原発に依存しない社会づくりへの施策は

A 自然エネルギーの導入促進をめざす

Q 防犯街路灯のLED化を推進しないか。

A 市民生活部長 今年度10灯程度を設置し、照度や器具の特性などを検証していく。検証結果などを踏まえ、次年度以降のLED化に向けて検討する。

Q 費用対効果の高い太陽熱利用機器への補助金制度導入をしないか。

A 調査研究をしていくたい。

厳しくなった紙おむつ助成金支給の見直しを

Q 「本人の所得が200万円未満」という支給条件が、「本人も同居者も市民税が非課税」となった。対象は居宅介護の方で、家族支援の意味もある制度なので見直さないか。

A 福祉部長 支給要件の見直しをし、年度途中だが緩和していくたい。条件を「本人及び同居家族も所得200万円未満」と考えている。



吉田 ひでき 議員

Q 更地にして保育園駐車場に

A 現在、防災倉庫が必要

Q 2年前の9月議会で、作田二丁目302番地の建物について「コミュニティセンター」への変更提案の質問をした。市(町)長が代わり執行部体制も変わった、再度伺う。あの建物は長湫西保育園関係の駐車場か安心安全課の物置か、所管担当課はどこか。

A 市民生活部長 所管は財政課。安心安全課が防災倉庫として、長湫西保育園が職員駐車場としても使用している。



地域の交通安全対策には、広

Q 土地面積と建物建築年数はどういうか。

A 土地面積、522.98m²。築年数は21年(平成3年6月建設)。

Q 倉庫の保管物は何か。地域住民への周知はされているか。

A 周知はしていない。保管物品は、災害毛布670枚、1トンの給水用車載タンク3基、仮設トイレや簡易切りセットを保管している。

Q 長湫西保育園周辺では、園児の送迎の車が多くあり苦情も届いている。市は保育園児の送迎の現状をどのように認識し、地域の交通安全についてどのような対応をしているか。

A 保育園周辺の駐車禁止箇所に駐車をし、近隣に迷惑をかけることがある点については、市として認識している。送迎時間帯には保育士が園周辺の道路に立つとともに、園内放送で車の移動を促すなど事故等が起こらないよう交通安全対策を実施している。保護者へは入園式で送迎方法の注意点について説明するとともに、随時園だよりや保護者会だよりを通じて、送迎時に関する注意喚起を実施している。



い 駐車場も必要な時代では



正木 祥豊 議員

Q リニモ再生への
処方箋は

A 愛知県と
協議していく

Q 行財政改革クラブとして7月に愛知県庁を訪れ副知事や担当職員に要望を伝えた。抜本的な支援として、県に第3セクター債を検討してもらえないか。

A 企画部長 県との協議の中で提案させてもらう。

Q 日本政策投資銀行などの有利子借り入れ分115億円の株式化を求める方法もあると思うがどうか。

A あわせて県に提案する。



リニモ再生への処方箋はどのように?

Q 事業仕分けの導入は検討しないか

A 現行の行政評価
システムを充実
させていく

Q 尾張旭市長久手市衛生組合の解散協議は進んでいるか

A 方向性を
決定していく

Q 組合の財産処分精算金に関する長久手市の考えはどうか。

A 市民生活部長 解散する場合の課題を整理し、両市で調整しながら方向性を決めていく。

Q リバースモーゲッジを検討しないか

A 社会福祉協議会で行なっている

Q 人生終末時精算方式として、本市でもリバースモーゲッジ(逆抵当融資)を検討しないか。

A 福祉部長 社会福祉協議会で不動産担保型生活資金を行っている。

Q 外部評価を公開したが、成果がわかりにくい。事業仕分けを導入しないか。

A 企画部長 現行システムの充実を図ることで各事業の改善や見直しをしていく。



水野 竹芳 議員

Q 補助金・助成金の見直しは

A 平成23年度に見直した

Q 昨年首長が代ったのを機会に過去のしがらみを断ち、新しい視点に立って、各種補助金・助成金の見直しをしないかと質問した。各種団体等への補助金などの年間件数・最高額と最低額はどういうか。

A 総務部長 平成23年度と22年度を比較すると、補助金・助成金等の総額は約5,900万円減少して、約4億7,000万円。件数は7件減少して78件に。最高額は約7,300万円減少し1億8,780万円余りとなった。

Q イベント内容の見直しと費用軽減

A 今後も見直しと費用軽減を図る

Q イベント内容の見直しにより費用の軽減を図り、浮いた費用により住民福祉の向上を目指したか。

A 企画部長 イベントや催事の見直しは、予算編成や行政改革による事業の見直しにより内容などの精査を行い、より効果的・効率的なものになるように努めている。常に念頭に置き、個々の事業の改善や見直しについて、取り組みたいと考えている。



行政評価について

Q 行政評価は、正しく行われているか。

A 企画部長 行政改革推進委員会による外部評価を受けている。



行政改革推進委員による外部評価の様子



川本 勝幸 議員

Q 介護の担い手に高齢者を

A 地域包括ケアシステムの導入を検討

Q 有償ボランティアの導入を考えないか。

A 福祉部長 ボランティア制度については、介護だけでなく、本市のまちづくり、健康づくりの推進に必要と考え、地域包括ケアシステムの導入を検討中。

Q 介護予防との関わりをどのように考えるか。

A 元気な高齢者が介護施設や高齢者住宅などで活躍するのは、介護予防につながると考えている。今後、ますます高齢化が進み、地域包括ケアシステムを構築していく中で、元気な高齢者のご意見を聞き一緒に考えていきたい。

踏み出そう！「すこまちプラン」の第一歩
「守山市
詳しくは

介護予防 生きがいづくり

65歳以上の皆さん！
守山市いきがい
ポイント事業に参加し
～ボランティア募集中～

市では「すこやかまちづくり行動プラン」に基づき、高齢者の皆さんにまちのために、「いきがい活動ポイント事業」を実施しています。
対象施設でボランティア活動を行うとポイントが貯まります。貯まったポイントと交換、または学校、園、自治会に寄付することができます。

Q 今後の田園バレー事業の取り組みは

A 農地斡旋、耕作地の拡大を図り、遊休農地利活用を推進

Q 遊休農地利活用をどのように推進していくのか。

A 建設部長 「あぐりん村」の開設により農家の耕作意欲を高め、今後も引き続き農地の斡旋、利用権設定などによる耕作地の拡大を図り、遊休農地利活用を推進していく。

Q 有機栽培の方向性はどようか。

A 都市近郊農業では、有機農業は地域農業振興として重要な方策であり、今後も引き続き有機農業の普及、支援を行っていきたい。

Q 農楽校、市民農園の課題は何か。

A 今後は、修了生が今以上に農業で活躍できる場を増やすことが課題である。「たがやっせ」は設備の整った農園として、現在も入園希望者が大変多い状況である。今後は施設の老朽化に伴う設備の修繕と維持管理が課題と考えている。

まちづくり行動プラン!推進中
まちづくり
地域貢献
活動しませんか?
ます元気に過ごしていただけた
ポイントは商品券や公共施設利用

有償ボランティア制度を導入している滋賀県守山市



すえ 規代 議員

地域共生ステーションについて

Q 「第1ステーション」となる西小学校区のAコープ西支店(空き店舗)を購入する予定はないか。

A たつせがある調整監 Aコープ側に売却の予定がないので、賃貸借となる。

Q リニモで通勤している市職員は何人いるか

A 数人である

Q 学生の利用率が極めて高いリニモであるが、愛知学院大学が名古屋市中心部にキャンパスの一部を移転させる。その影響をどう見るか。

A 企画部長 同大学の利用者が25%ほど減少すると考えられる。

Q 無人駅で困っている人を見かける。これらの人達を案内するボランティアをイベントのない日も募ってはどうか。

A シニア中心の市民団体からも提案がある。利便性の向上に努めていきたい。



Q 市役所内女性用トイレの改修は

A 9月末までに行う

Q 本庁舎の女性用トイレの荷物掛けフックは高さ191cmの位置にあり、手の届かない女性が多い。これまで気がつかなかったのか。

A 総務部長 気がつかなかった。

Q 定期的に庁舎内の設備・器具を点検していないのか。

A 定期的にはしていない。

Q 天ぷら油の回収場所を増やさないか

A 予定はない

Q 循環型社会の形成を行っていかないか。

A 市民生活部長 行っていく。

Q 東日本大震災ではガソリン不足となった時、天ぷら油(廃食用油)を再利用したバイオディーゼル燃料で走る自動車が災害復旧に活躍した。災害時の代替手段として利用しないか。

A 考えていない。



川合 保生 議員

Q 自治基本条例制定作業の現状は

A 市民意識調査の結果待ち

Q 全国での制定自治体数はいくつか。

A 企画部長 承知していない。

Q そのくらいは知っていて欲しい。9月6日で253自治体である。作業は進んでいないのか。
A 大枠を考えているところである。

Q 不燃物・資源ごみの持ち去り対応は

A 通報があった時、発見した時に指導している

Q 特に指定袋を購入する不燃物については、市の責任で収集をすることが前提であり市民との契約である。それを持ち去るのは

窃盗ではないか。

A 市民生活部長 出された段階で市の所有物と考えればそれは窃盗にあたる可能性があると思う。

Q 持ち去り禁止条例は考えているか。

A 今後、制定している市町を参考にして条例化していきたい。



田崎 あきひさ 議員

Q 市内民俗資料をどうするのか

A 有効な活用方法を検討したい

Q 子どもたちに長久手の50年の歴史を教えていくために、この資料を活用することが大事であるがどうか。

A 教育文化部長 一部を郷土資料室2階に展示しているが、スペースが狭いので大きな物は展示できず長久手小学校の倉庫に保管している。

Q 常設の民俗資料館が必要ではないか。

A 教育文化部次長 昭和50年代の区画整理により、取り壊された多くの家屋の農機具・民具を収集し、収蔵している。今後、展示も含め活用をしていきたい。

A 市長 子どもたち、市民が当時を体験できるような場はないかと考えている。



長久手小学校の民俗資料倉庫

Q 長久手の外来種被害防止策は

A 状況を把握し対処したい

Q 杣ヶ池公園と杣ヶ池体育館は現在長久手市教育委員会生涯学習課の管理の下に置かれている。しかし、その管理は生涯学習課の一人の担当者に委ねられているのが現状である。

杣ヶ池公園は長久手市民の憩いの場として親しまれているばかりでなく、遠方からも家族連れがやってくるなど周辺地域の人々にも影響を与えている施設で、運営次第でさらに長久手の魅力となるポテンシャルの高い施設だ。しかし昨今、池の周辺に



外来種のミドリガメやブルー管理体制の整備が急務

植えられ市民が楽しみにしていた風趣豊かな柳や枝垂れ桜の木々が枯死してもそのまま放置されている他、壊れたベンチは長い間手もつけられず、自転車進入禁止の看板も多くが壊れたまま対応ができないなど管理・運営に限界がある。現状から分割する必要があるかどうか。

A市民生活部長 枝垂れ桜の枯死については倒木処理を行う。今後の管理も生涯学習課が行う。

A副市長 都市公園も広がり、生涯学習課の事業の経過を見ると整理が必要。都市の貴重な緑で市内外の人に非常に親しまれているので、公園緑地としての精度を高める必要があり、内部で適切な管理の議論を進める。

Q公園内の外来種駆除や生態系に係る被害防止の考えはどうだ。

A松ヶ池で、たくさんの外来種が確認された。実地の環境教育の場として活用できる可能性があり、外来種との付き合い方や対処の仕方など周知していきたい。

Q池干しをしたらどうか。

A調査結果が悪い状態であればひとつの手法として管理に反映したい。



ギルが確認された松ヶ池



さとう ゆみ 議員

Q 市役所に手話通訳者の設置を

A 平成25年度に実現したい

区分	第2期計画			
	21年度	22年度	23年度	
コミュニケーション支援事業	【手話通訳者設置事業】 実設置見込み者数	0	0	1
	【手話通訳者・要約筆記者派遣事業】 実利用見込み者数	10	12	15 (5)

※平成23年度の()内の数値は、第1期の目標値
平成23年度に手話通訳者を設置するとしながら実現していない
「長久手町第2期障害福祉計画2009-2011」から引用

Q (株)長久手温泉の赤字は改善できるのか

A コンサルの出した結果で方向性を決めていく

Q市が今年度約400万円かけてコンサルタント会社に委託する調査はどのような目的か。

A福祉部長 今後の「ござらせ」と「あぐりん村」の運営に関する指標を立てるためである。

Q「直営のレストランがずっと赤字であることや、市民の利用が十分回れてないことが採算が合わない要因」と昨年答弁があつたが改善したのか。

A副市長 現状では改善されていない。

Q「障害福祉計画」に平成23年度に手話通訳者を設置すると明記しながら行わなかった理由は何か。

A福祉部長 準備が整わず実施できなかった。

Q今年3月に策定された新たな「障害福祉計画」にも手話通訳者を設置するとあるが、7月の時点では具体的な検討が何もなされていなかった。進捗状況はどのようか。

A平成25年度に手話通訳者を1人設置することを目標とし、どのような配置方法が効果的か検討していく。

いじめ対策について

Q市内の小中学校で発生したいじめの件数をたずねたところ市の教育委員会では全く把握できていなかったのは問題ではないか。

A教育文化部長 その時は答えられなかったが、年1回文部科学省の調査の取りまとめをしているので今は把握している。

Qいじめが起きたときに調査し、対応を勧告する第三者機関を常設する考えはあるか。

A教育長 緊急に対応するようないじめは発生していないので、必要はないと考えている。



青山 直道 議員

Q 非構造部材の点検は

A 教職員が日常的に目視点検

Q 文部科学省から「地震による落物や転倒物から子どもたちを守るために～学校施設の非構造部材(※1)の耐震化ガイドブック～」「東日本大災害を踏まえた学校施設の整備について」の緊急提言が出ている。構造物の耐震化は完了しているが、非構造部材の点検を専門業者になぜ依頼しないのか。

A 教育文化部次長 小中学校では以前から段階的に行ってい る。教職員が日常的に、教育委員会が定期的に目視点検をしてい

る。地域の避難場所となっている体育館は、今年度専門機関に依頼して点検調査を行う。

Q 減災のため、各施設に合ったマニュアルが必要だが、点検見直しをし、更新しているのか。

A 県の標準総合マニュアルを元に、各施設でマニュアルを作つており、適宜見直し更新している。

Q 実際に警報を鳴らし、訓練にも使える地震計内蔵の緊急地震速報受信機に取り換えないか。

A 地震計内蔵については、検討するが現状の受信機を活用して訓練などをしていきたい。また、保育園と児童館については、受信機設置を検討する。

Q 名古屋でも防災訓練シェイクアウト(※2)を実施するがどう思うか。

A 市民生活部長 詳しくは知らないが、安心安全課で活用できればしていきたい。

※1. 非構造部材とは天井材、内外装材、照明器具、設備機器、窓ガラス、家具など

※2. シェイクアウト訓練とは同刻一斉に身の安全を図る行動を取り、防災対策を確認する訓練。



地震だ!!机の下に隠れる小学生



加藤 和男 議員

Q 交通事故件数は何件か

A 人身事故件数は208件

Q 交通事故の原因はどのようか。

A 市民生活部長 一番多いのが車両対車両の113件、続いて自転車対車両の48件である。車両対車両は追突事故が65件で57.5%、自転車対車両は出会い頭事故が28件で58.3%である。追突事故での主な原因は脇見



交通安全啓発のぼり
「緊急通報 交通死亡事故発生」

運転や前方安全不確認、出会いがしら事故は左右の安全不確認である。

Q 愛知県が全国交通事故死ワースト1位である。それを返上する対策を市は何か考えているか。

A 平成22年7月15日の事故以来、交通死亡事故は発生していないが、ドライバーや歩行者に向けた街頭啓発活動、幼児や児童、高齢者向け交通安全教室の開催、シートベルト着用や飲酒運転根絶を呼びかけるキャンペーンの実施などの交通安全啓発を実施し、交通死亡事故の抑制に努めしていく。

Q 独居高齢者支援は

A 緊急通報システム事業、食の自立支援を行っている

Q 高齢者数および要介護、要支援認定者数の現状はどのようか。

A 福祉部長 平成24年7月31日現在、高齢者は7,182人、要介護認定者は699人、要支援認定者は255人である。

Q 救急医療情報キット(命のバトン)を導入しないか。

A 消防署に一人暮らしの高齢者の希望者や緊急通報システムを利用している人の既往症などの情報を登録し、救急隊や消防隊がその情報を活用してきた。本年より災害時要援護者登録システムの情報を追加登録し、救急活動の他、火災、救助活動にも活用しているので「救急医療情報キット」の導入は考えていない。



浅井 たつお 議員

Q 精霊流し
中止の訳は

A 平等性がない

Q なぜ中止か。

A 市民生活部長 橋のたもとなどに回収カゴを設置し対応してきた結果、川に流す風習はなくなった。職員の作業負担、ゴミ袋代も負担せず



よき伝統行事・地域的人はご先祖をしのび、丁寧に対応している

Q 豪雨災害の
原因・対策は

A 調査し対策を
講じたい

Q 昨年9月20日、当市において豪雨のため床上浸水などの被害があった。その後、市民の財産を守る措置がどのようになされたか。

A 建設部長 現在、篠田地区の排水路を調査中で原因はまだ判明していないが調査結果に基づき対策を講じていきたい。東島地区における道路冠水箇所の状況は確認しているが、原因は分かっていない。排水対策などについて現在研究中である。

平等性がない。ろうそくや線香の燃えかすを放置したり、一般ゴミを出すなどマナーが悪いので今年のお盆の時期に十分な予告と周知を行い廃止した。

Q 市民との意思疎通が一番大事である。何故、関係市民と話し合わないのであるのか。

A 理解を得るのが非常に難しいので考えていない。

公園西駅周辺開発について

Q 第4回地権者説明会が8月11日に開催された。市が直接施行、減歩率46%、11月に進出企業を決定することだが、多大な市税の負担を伴う直営での区画整理事業は、公的な重大問題の解決といった目的が必要であり、この地域の特殊な問題、活断層があり位置も不明確、処分地価格が安いからと市直営で施行することは問題である。

A 建設部長 スピード感をもって事業を実施していく。



原田 秀俊 議員

Q 吉田市長の1年間の成果はどうか

A 職員をはじめ一生懸命やっている

Q 市長の1年間について、改めて確認したい。西庁舎壁画の前に市民と語る市政サロン(小屋)ができた。県の施設にある壁画は芸術作品として移転される。これを見て大きな差を感じた。一体市長は何を考えているのか。小屋の撤去は考えないか。

A 企画部長 市民の声を身近で聞きたい、来やすい場所にと検討し、新たに設置をした。芸術作品も部屋の中で見られるように柱のみの配慮とした。芸術作品に

対しておろそかな気持ちで設置したわけではない。

Q 紙おむつ助成金支給に所得制限を加えて4月から改正とした件の起案文書は3月15日作成で、福祉部長の専決処分が16日。この施策は、加藤前町長の「新しい政策指針」の中に入っていた。また、リニモの乗車券の支給が2,000円から1,000円に減った。この起案も3月15日に作って1日で決裁している。看板は日本一福祉のまちをつくるという。何かおかしいのではないか。これは市長に答弁を求める。

A 福祉部長 決裁区分に従い見直しをした。介護事業計画の中で「公平な事業を」ということがあり、その観点で実施した。しかし、その内容については現在、見直しを行っている。

A 副市長 紙おむつにはさまざまな意見があった。本当に必要な方に福祉が行き渡るようにと市長からの指示もあり、現在調査中である。一度変更したことでも必要があれば即座に修正するという姿勢については変わっていない。



作家 真柄乃布彦氏「飛翔」の前に造った市政サロン(小屋)

市が洞小学校の増築計画に対するご意見をください

市が洞小学校では児童数が急激に増加していて現在の839人から6年後の平成30年には1,300人を超えると予想されています。校区を見直さなかった場合、大規模な校舎増築工事が必要となります。文教福祉委員会では教育委員会に対して、昨年度から市が洞小学校の増築計画を進めるにあたり、市民の皆さんのご意見を伺うよう要望し、この度申し込みを入れました。増築に至る経過や、校区を見直さなかった場合のメリット・デメリットは市のホームページ(トピックス新着一覧:市が洞小学校増築計画の学区のあり方等について)に示されています。広く市民のご意見をお寄せください。

11月9日(金)まで下記の方法で募集しています。

- (1)FAX
(0561)62-1451
(2)メール
zoutiku@city.nagakute.lg.jp

長久手市教育委員会教育総務課

※いずれも

- ①保護者か地域住民かの別
②お住まいの字名をお書き添えください。

※市が洞小学校校区以外の方でもかまいません。

あの質問はどうなった

平成21年6月議会

文科省は学校の太陽光パネル設置費用の2分の1を国庫補助する補正予算を計上。学校に太陽光パネルの設置をしないか。

教育文化部長 答弁
国の補助などの活用を検討。

平成21年9月議会

市が洞小学校は開校時に設置済。残りの小中学校全てに設置するための補正予算計上。

平成22年10月

全小中学校に1基設置
(北小は増築校舎を含め2基)
環境学習に活用。



市内の全小中学校に太陽光パネルが設置されている

平成20年9月議会

新給食センターでは、アレルギー対応食をしないか。

教育文化部長 答弁
アレルギー対応食について検討。

平成21年6月議会

現行のアレルギー対応はどのようにするか。

教育文化部長 答弁
保育園食では卵、乳につき可能な限り除去。
新給食センターでは、アレルギー食専用調理室を検討。

平成24年1月12日から

新給食センターで小中学校のアレルギー対応給食開始。卵、乳を除去



アレルギー食専用調理室が設置された

議会傍聴記

開かれる長久手

先頃、初めての「第1回議会報告会」が行われた。選挙で選ばれた「議員」から「市民」への報告会である。何かが変わってきた。それを確かめるため9月議会を傍聴した。結論を言えば、以前とあまり変わらない国会を模したような討論風景であった。野党が詰問し、為政者側が弁明に近い回答をするという様式である。何か噛み合っていない。この5万人ほどの「まち」には、もっと形式にこだわらない率直なやり取りがあつてよいのではないだろうか。傍らからでは、言葉の空中戦のように見てとれる。例えば、グラフや数表、図面や映像などに視覚化すれば、議場全体がもっと具体的に情報を共有できるのではないかだろうか。開発予定地の現地の位置や状況、進出候補の企

武蔵塚在住 都築徳紀さん

業内容、学校トイレの写真など、言葉だけでは「知っている人」しか分からない。

物事の進行には、提案、企画、実行、検証、評価がある。「予定」には「期限」が、「検討」には「結果報告」が、そして「検証」には「第三者的客観性」があると思われるが、私にはよく理解できなかった。また委員会では、議員と当局との事前のチェックがあまりなされていないように感じられる場面もあり、残念だった。

ともあれ、最近の動きには、明らかに市民に主体が移りつつあることを実感する。これからは、開かれた市政、開かれた議会、行政と市民との交流、情報の共有が不可欠である。「隠すことは何もない」という市長の言葉に、これからの長久手を託し、託されたい。

TOPICS

- 長久手市議会定例会の一般質問の録画映像をインターネット配信中。

●閲覧場所 長久手市議会ホームページ

●その他 配信する録画映像は、会議名検索、発言者検索、会派検索、フリーワード検索ができます。

しない!させない!求めない!

政治家の寄付行為は禁止

- お祭りへの寄付行為
- 病気見舞い
- 葬式の花輪、供花
- 開店祝い、落成式の花輪
- 町内会の催し物へ差し入れ



12月定例議会開催予定

(平成24年11月30日～12月19日 20日間)

月	日	曜日	開始時間	会議日程	議事事項
11月30日		金	午前10時	本会議	議案(上程・説明)
12月 3日		月	午前10時	本会議	議案質疑・委員会付託
12月 5日		水	午前9時30分	本会議	一般質問
12月 6日		木	午前9時30分	本会議	一般質問
12月 7日		金	午前9時30分	本会議	一般質問
12月10日		月	午前10時	常任委員会	
12月11日		火	午前10時	常任委員会	
12月12日		水	午前10時	常任委員会	
12月17日		月	午前10時	議会運営委員会	
12月19日		水	午前10時	本会議	議案委員長報告・討論採決

12月議会への請願陳情の提出締切日は11月20日(火)正午です。

編集後記

警固祭りの棒の手のかけ声や火縄銃の発砲が響き、やっと秋らしくなってきました。9月議会では、議長を除く19人全員が一般質問(代表・個人)を行い、傍聴席では聴覚障がい者のための手話通訳者を配置しました。

今後も、市民の皆様に議会の情報を、わかりやすくお伝えできるように努力致します。

直道

編集特別委員

委員長 佐野 尚人	副委員長 さとう ゆみ	青山 直道
加藤 和男	木村 さゆり	じんの 和子